

## つちのいえのおもいで

畑中久美子

2009年の夏、文化庁の新進芸術家海外研修制度でドイツへ研修に行く出発前に、同制度の先輩である井上先生からお声がけ頂き、「つちのいえ」の版築ワークショップに参加させて頂きました。私が実際に関わった箇所は版築の材料や型枠のことについての助言と、版築工事の初日だけでした。版築工事では、土と石灰を混ぜて型枠に入れて搗き固める始めの作業を学生のみなさんにお伝えしたように思います。この後間もなく渡独したので、無事に版築壁が打てたか心配でしたが、版築壁の完成写真と報告を井上先生からメールで頂いた時はほっとしたと同時にとてもうれしく思いました。

その後、版築壁を大事に守るように、周囲に柱梁の骨組みが立ち、土壁が塗られ、茅葺き屋根が葺かれ、どこの国の建物かわからない様な建物になり、さらに感無量でした。

建築側の人達からはなかなか出ない自由なアイデアや雰囲気、お茶会をされている様子も刺激的で、帰国後何度か遊びに行かせていただきました。このワークショップを通して当時の参加学生や、先生方とはその後もご縁が続いています。

現在、建築は職人が行うものとして経済活動のひとつとなっています。建物に住む人、使う人は消費者として建築工事に関わる事は殆どありません。しかし、古来から人間は自分の家は自分でつくっていました。その原点に立ち戻り、土という身近な素材を使って建物をつくることと、使うことを同じ人が行う事の喜びがここで共有されていた様に思います。

このワークショップを経験された人の人生にとっても大きな印象を残した活動だったと確信しています。

2002年神戸芸術工科大学大学院修了。2005年 一級建築士事務所・畑中久美子デザイン室開設。滋賀県立大学、神戸芸術工科大学非常勤講師を経て、2009年文化庁新進芸術家海外研修員。現在、岐阜市立女子短期大学生活デザイン学科准教授。土壁、自然素材を用いた環境共生住宅、商業施設の設計や、ワークショップによる参加型建築、調査研究を通じた建築活動を行う。



版築ワークショップ 2009/7/23